

DPC 制度（DPC/PDPS）に係るこれまでの検討状況について（2）

（中間報告・その2）（案）

平成 23 年●月●日

診療報酬調査専門組織 DPC 評価分科会

分科会長 小山 信彌

1. 概要

- 平成 24 年改定に向けた DPC 制度（DPC/PDPS）の対応については、平成 23 年 9 月 7 日の中医協総会で了承された検討事項とスケジュールに基づき、以降の DPC 評価分科会において検討を進めることとされた。
- その後、計 3 回（平成 23 年 9 月 21 日、同年 10 月 14 日、同年 11 月 7 日）の DPC 評価分科会での検討を経て、平成 24 年改定において対応する、調整係数の見直しに係る以下の 2 つの事項に関する「今後の対応方針」について、一定の検討結果が取りまとめられたので、今回、中医協総会に報告する。
 - (1) 基礎係数設定のための医療機関群の具体化
 - (2) 機能評価係数Ⅱの具体化（見直しや追加を含む）

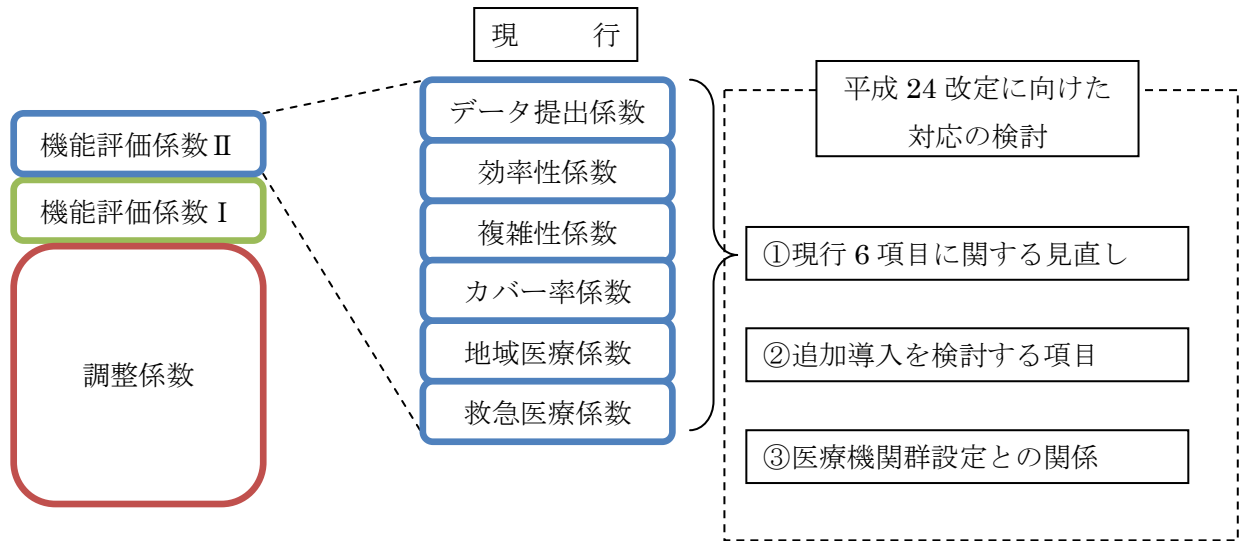
2. 検討結果の概要

- (1) 「基礎係数設定のための医療機関群の具体化」に関する今後の対応方針

資料 D-2-1、D-2-2（必要に応じて一部抜粋）に分科会での検討結果を加味して作成

(2) 「機能評価係数Ⅱの具体化（見直しや追加を含む）」に関する今後の対応方針

平成 22 年改定で導入された機能評価係数Ⅱ（現行 6 項目）について、次回改定でどのような見直しを検討すべきかについて、①現行 6 項目に関する見直し、②追加導入を検討する項目、③医療機関群設定との関係、の 3 つの視点から整理した「今後の対応方針」は以下の通り。なお、各項目の詳細な算出方法等については引き続き検討を行うものとする。



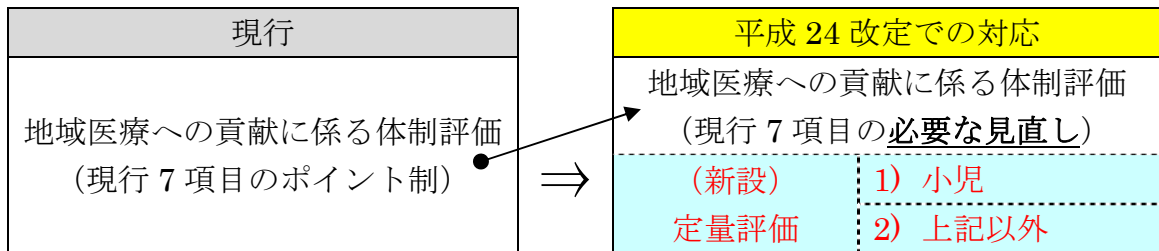
①現行 6 項目に関する見直し

- 1) 地域医療指数、救急医療係数、データ提出指数については、以下のような必要な見直しを行ってはどうか。

地域医療指数

- i) 地域で発生する患者に対する各病院のシェアを中心に、退院患者調査データを活用した地域医療への貢献の定量的評価を導入する（定量的な評価指標の追加）。
- ii) 地域医療計画等における一定の役割を評価する現行のポイント制についても現状を踏まえ必要な見直しを行う。

<評価のイメージ>



※ それぞれの重みづけについては、最終的に中医協総会で議論

救急医療係数

- i) 包括評価だけでは適正な評価が困難とされる救急医療提供への取組みを阻害しないためのメッセージとして、救急医療へのインセンティブを引き続き明示するという観点から、これまでの「救急医療係数」を「救急医療指数」(※)として引き続き評価する。

※ 救急医療指数については、各医療機関における救急医療の診療実績をそのまま反映する「指数」とし、報酬額を直接算出する「係数」としての取扱いは廃止する（「指数」の係数化については、各項目の重み付けの議論を含め、最終的に中医協総会において決定）。

- ii) 救急医療の体制に係る評価は地域医療指数の体制評価項目において対応する。

データ提出指数

- i) 提出データの質的指標（評価指標）について、コーディングの実態や臨床的な視点から更なる精緻化を行う。
- 2) 効率性指数、複雑性指数、カバー率指数については現行の評価方法を基本としてはどうか。

②追加導入を検討すべき項目

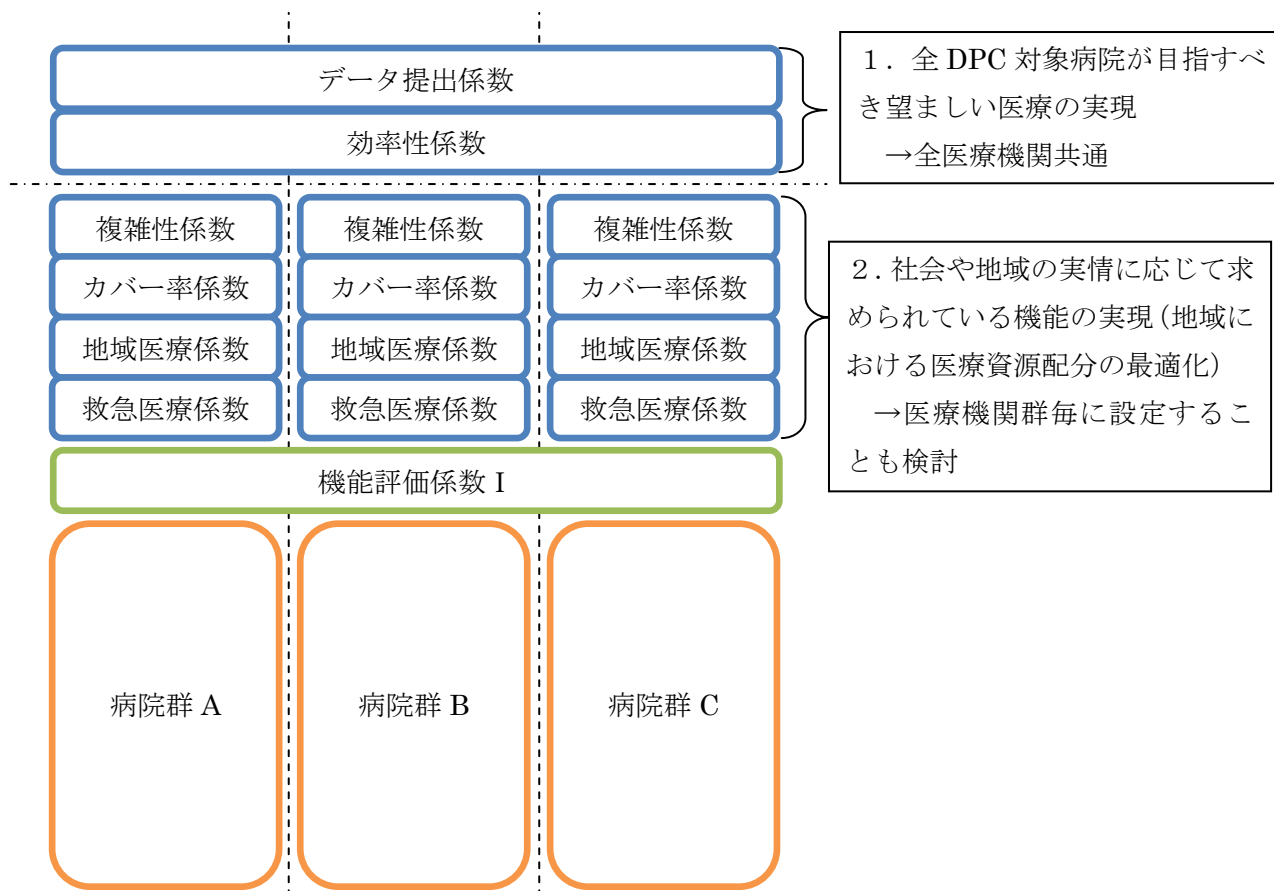
- 1) 「診療情報活用の評価」の導入について今後、検討してはどうか。

- 退院患者調査等のデータを活用し、病院自らが患者や住民に対して積極的に自施設の診療に関する追加的な情報も含めて情報を提供することにより、診療内容の透明化や改善の促進が期待できることから、これらの取組みをインセンティブとして評価することを検討してはどうか。
- なお、単に公表されているデータ等を一方的に提示するだけでは評価に値しないとの指摘や、公表の様式（フォーマット）も含めた適切な評価対象の設定が重要との指摘もあることから、平成24年改定では対応せず、今後継続して導入の是非や具体的な方法等も含めて検討を継続してはどうか。

③医療機関群設定との関係

- 1) 機能評価係数Ⅱ各指数の評価手法や評価基準の設定について、今後設定する医療機関群の特性を踏まえつつ、それぞれの指数に応じて、全医療機関共通とするものと医療機関群毎に設定するものとに分けて設定してはどうか。

<医療機関群との関係に係るイメージ（3群の場合）>



3. 今後の検討作業

上記 2.に整理した「今後の対応方針」についての中医協総会での検討結果を踏まえた上で、引き続き、DPC/PDPS に係る平成 24 年改定での対応に向け、DPC 評価分科会において必要な検討作業を継続してはどうか。